

**製品名: SMARCA2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82992**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:200-1:400,ICC 1:25-1:50,FC 1:200-1:400
分子量	181.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SMARCA2
別名	BIS;BRM;SNF2;SWI2;hBRM;NCBRS;Sth1p;BAF190;SNF2L2;SNF2LA;hSNF2a
遺伝子 ID	6595.0
SwissProt ID	P51531
免疫原	ヒト SMARCA2/BRM の合成ペプチド

**背景**

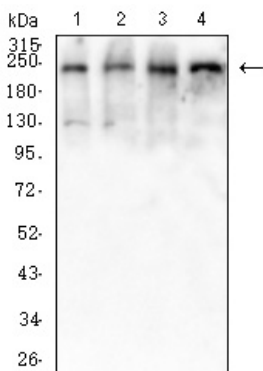
この遺伝子によってコードされるタンパク質は SWI/SNF ファミリーに属し、ショウジョウバエのブラフマタンパク質と非常に類似しています。このファミリーのメンバーはヘリカーゼ活性と ATPase 活性を有し、特定の遺伝子の周囲のクロマチン構造を変化させるこ

とで、それらの遺伝子の転写を制御していると考えられています。コードされるタンパク質は、ATP 依存性クロマチンリモデリング複合体 SNF/SWI の一部であり、通常はクロマチンによって抑制されている遺伝子の転写活性化に必須です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっており、トリヌクレオチドリピート (CAG) 長多型を有しています。[RefSeq 提供、2014年1月]

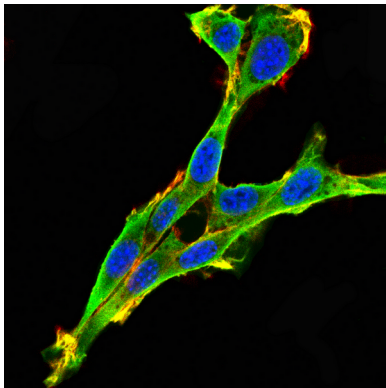
## 研究分野

-

## 画像データ



HeLa(1)、HEK293(2)、HepG2(3)、A431(4)細胞溶解物に対する SMARCA2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



SMARCA2 マウス mAb (緑) を用いた NIH3T3 細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。